

科目名・単位数	日本経済・経済学概論 2単位	科目分類	経済・経営系	基本科目
配当年次	1年次・春学期・昼	担当教員	なかの ひろし	
履修形態	選択		中野 宏	
授業概要	<p>公認会計士・税理士になればもちろんのこと、将来学生諸君がどのような職業に就こうと、社会に出れば「経済」と付き合わずに済ますことは出来ない。景気の動向や、金利・物価・為替レートの動きなどから必要なことを読み取り、あるいはそれらの動きを予想し、仕事や人生に反映させていくことになる。本講義では、現在の日本経済が直面する諸問題、たとえばアベノミクス景気の行方、デフレーション、政府債務、金融情勢、所得格差などを題材としてとりあげ、経済を見る目を養うとともに、経済学という学問の存在意義や方法論を学習する。なお、下記の授業内容は予定である。学生諸君の理解度あるいは希望、履修登録学生数に応じて適宜変更することがある。</p>			
到達目標	<p>1. 現代日本経済が抱える諸問題を理解し、経済社会の諸現象を、自分の言葉で説明できる知性と分析力を身につけること。 2. 経済学の論理構造を理解し、経済学的なものの考え方に慣れること。</p>			
授業方法	<p>講義形式でオンライン授業（オンデマンド型）を行うが、毎回の課題とフィードバック、メール等による質疑応答の場を設ける。教室での対面授業の開始後に、25分程度のプレゼンテーションを各自1回行ってもらう。</p>			
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使用する新聞記事や統計資料について目を通しておくこと。(90分) ・次の授業までに前回レジュメをもう一度見返しておくこと。(90分) 			
成績評価の方法	<p>プレゼンテーションの準備内容(40%)、ディスカッション等の授業への参加状況(20%)、授業内試験の成績(40%)によって総合的に評価する。</p>			
フィードバックの方法	<p>記述問題の解答は授業内あるいは配付資料で随時解説する。</p>			
履修上の注意	<p>新聞やテレビで報道される経済の動きに積極的に関心を持つことが望まれる。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>経済学とは何か 人々のモノに対する欲望は限りがないのに、それを生産するための労働力などの資源には限りがある。したがって、何をどれだけ作り(資源配分)、それをどのように分配する(所得配分)のが最も望ましいのかを考えなければならない。経済学という学問の存在意義を知る。</p>			
第2回	<p>GDPとは何か GDP(国内総生産)は一国の一年間の生産額であり、景気動向と経済成長をみる基礎的な統計資料である。GDPの測り方、名目値と実質値の違い、成長率の考え方、最終財と中間財、消費財と投資財の分類などの基礎知識を学ぶ。</p>			
第3回	<p>景気変動の原因 GDPは短期的には総支出(どれだけモノが買われたか)によって決定されるという有効需要の原理を学ぶ。総支出の中でも特に重要な個人消費と設備投資がそれぞれ景気循環においてどのような役割を果たしているかを知る。</p>			

第 4 回	インフレとデフレ 90年代以降我が国経済は長期にわたり低迷したが、それ以前の不況と異なる特徴は、デフレ（物価の継続的な下落）傾向が顕著なことである。物価変動を測定するための物価指数の考え方を学ぶとともに、デフレがなぜ景気に悪影響を及ぼすのか考察する。
第 5 回	完全競争市場と価格の決定 経済全体の物価の動向は景気が左右するが、個々の商品の価格はそれが取引される市場で個別に決定される。その中でも議論の基礎となる完全競争市場を取り上げ、価格の決定メカニズムを学ぶ。
第 6 回	為替レートの決定と変動 為替レートの動向は輸出に影響を与えることで景気を左右する要因ともなる。完全競争市場の応用例として外国為替市場を取り上げ、為替レートの決定と変動の仕組みを学ぶ。
第 7 回	政府財政の仕組み 我が国政府の一般会計予算は 100 兆円に及ぶが、そのうち政策のために必要な資金は 60%に過ぎない。また、予算は原則として税収で賄わなければならないが、実際は 50%ほどで、残りは国債を発行して借金をしている。我が国の財政構造について学ぶ。
第 8 回	政府の財政政策 不況の原因は総支出の不足である。しかし不況時には、人々の所得は低迷しているため個人消費は増加しないし、過剰設備の存在のため企業の設備投資も期待できない。このとき、政府はどのような政策を行えばよいか考察する。
第 9 回	政府の長期債務 90年代に入り毎年大量に国債を発行し続けた結果、現在我が国政府の長期債務残高は中央と地方合わせて 1000 兆円（GDP の 200%）を超える水準にまで膨らんでいる。政府債務の累積が引き起こす諸問題について考察する。
第 10 回	貨幣と何か 決済にすぐに使える金融資産を貨幣とよび、現金と預金がこれに相当する。そもそも貨幣が経済社会に登場した理由は何か。また、古くは貝殻等に始まり現在の紙幣へと貨幣は発展したが、何が使われるにせよ貨幣として機能するために必要な条件とは何か考える。
第 11 回	中央銀行の金融政策 その国や地域で唯一銀行券を発行する権利を与えられた銀行を中央銀行と呼ぶ。中央銀行は市中に流通する貨幣量と金利をコントロールする。現在の日本銀行の「異次元の緩和」「マイナス金利」といった政策が何を目的に行われているかを知る。
第 12 回	所得格差 近年、世界的に所得格差が広がっていると言われる。所得分配の不公平の程度を測る代表的な指標であるジニ係数や貧困率を紹介するとともに、所得格差が拡大した理由と、格差を是正するための所得再分配政策について学習する。
第 13 回	プレゼンテーション (1) 発表者は知識ゼロの聴衆を相手に自分が講師になったつもりで、情報を伝えるのではなく理解させることを念頭におくこと。発表後はディスカッションを行う。
第 14 回	プレゼンテーション (2) 発表者は知識ゼロの聴衆を相手に自分が講師になったつもりで、情報を伝えるのではなく理解させることを念頭におくこと。発表後はディスカッションを行う。
第 15 回	授業のまとめ 授業内試験によって講義のまとめを行う。
テ キ ス ト	レジュメを配布する。
参 考 図 書	必要であれば講義内で指示する。